

News & Information

ソニー教育財団 2018 年度「教育・保育実践論文」 入選校・入選園発表 教育助成金とソニー製品を贈呈

ソニー教育財団（会長：盛田昌夫）は、全国の小学校・中学校、幼稚園・保育所・認定こども園から教育・保育実践論文を募集し、特に優れた取り組みに、教育助成金とソニー製品を贈呈しています。今年度、全国の小・中学校より172件、幼稚園・保育所・認定こども園より146件、合計318件の論文応募があり、書類審査、現地調査および厳正なる最終審査を経て、下記の通り入選校・入選園が決定いたしました。

受賞された学校・園の先生および保護者代表の皆さまには、2019年1月19日（土）にソニー株式会社本社にて開催する贈呈式にて、ソニー教育財団会長 盛田昌夫より、賞状と目録をお渡しいたします。贈呈式では、文部科学省をはじめとするご来賓の皆さまをお迎えし、入選校・園による研究発表も行います。

1959年にソニー創業者の井深大が「日本の発展には子どもたちの科学教育こそ重要」と考え、ソニーが小学校への教育助成活動を始めてから60年を迎えます。ソニーは長きにわたり、よりよい教育の実践に熱意をもって取り組む全国の先生方を支援し続けてまいりました。ソニー教育財団はその信念に基づき、これからも教育・保育現場の先生方と共に、子どもたちの「科学する心」を育ててまいります。

2018 年度 ソニー子ども科学教育プログラム入選校・ソニー幼児教育支援プログラム入選園

対象：小学校・中学校 テーマ：「科学が好きな子どもを育てる」教育実践と計画
審査委員長：御手洗康 元文部科学事務次官

■最優秀校（2校）：教育助成金300万円とソニー製品（※）

学校名	論文テーマ
鹿児島大学教育学部 附属小学校（鹿児島県）	鹿児島の自然に親しみ、学びの価値を実感する 鹿大附小プラン2019
岐阜市立陽南中学校 （岐阜県）	自然の事物・現象に進んで関わり、 自己の学びをつなぐ生徒の育成



鹿児島大学教育学部附属小学校の実践

- ・優秀校（10校）：教育助成金50万円とソニー製品（※）
- ・奨励校（79校）：教育助成金10万円とソニー製「デジタルスチルカメラ（1台）」

対象：幼稚園・保育所・認定こども園 テーマ：「科学する心を育てる」幼児教育実践と方向性
審査委員長：小泉英明（株）日立製作所 名誉フェロー

■最優秀園（2園）：教育助成金100万円とソニー製品（※）

園名	論文テーマ
山梨学院幼稚園 （山梨県）	お米づくりから広がる子どもたちの世界
奈良市立鶴舞こども園 （奈良県）	創造的なひらめきから「いい」をかたちづくる 「いい」こと考えたーきっと「いい」はずー 「いい」とはこれだ



鶴舞こども園の実践

- ・審査委員特別賞（1園）優秀園（10園）：教育助成金20万円とソニー製品（※）
- ・奨励園（68園）：教育助成金5万円とソニー製「CDラジカセ（1台）」

※ソニー製品：「4K液晶テレビ」、「データプロジェクター」、「4Kビデオカメラ」、「デジタルスチルカメラ」「アクションカム（2台）」「KOOV（2台）」「MESH（7タグを3セット）」から1つをお選びいただけます。また、受賞にかかわらず、ご応募いただいた全ての学校・園に「デジタルスチルカメラ（1台）」を贈呈します。

優秀、奨励の校名・園名は、別紙「入選校・入選園一覧」またはウェブサイトをご覧ください。
 ソニー教育財団「教育助成」：<http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/>

最優秀校・最優秀園 審査講評

最優秀の入選論文（PDF）はウェブサイトでお読みいただけます。

ソニー教育財団「教育助成」：<http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/>

最優秀校

■ 鹿児島大学教育学部附属小学校（鹿児島県）

鹿児島島の自然に親しみ、学びの価値を実感する鹿大附小プラン 2019

地域の小学校教育を先導する実践的研究に取り組む中において、理科教育を中心に「科学が好きな子ども」を育てる取り組みを長年にわたって展開されてきました。こうした真摯で地道な実践の中で、今回の論文では、2014年度からの4年間の「わくわく」「じっくり」「なるほど」をキーワードとした授業改善の取り組みを踏まえ、「教科プロジェクト」、「連携プロジェクト」、「環境プロジェクト」を掲げ、PTAや大学等と連携して学校全体で総合的な取り組みを展開されています。

授業改善の柱となる「教科プロジェクト」では、教材の工夫と発問に視点を当て、子どもたち一人一人が自分の課題をもって問題解決を図る理科・生活科の実践が展開されています。

■ 岐阜市立陽南中学校（岐阜県）

自然の事物・現象に進んで関わり、自己の学びをつなぐ生徒の育成

地域の研究実践校としての使命感を持ち、「科学が好きな子ども」の育成は、理科の授業を柱とした取り組みではありますが、理科以外の教科の学習活動で培われる資質能力とも大きくかかわります。そうした考えに基づいて、理科の学習指導では、「科学が好きな子ども」の感性・創造性・主体性を育成する観点から、単元構成や授業の場面での導入・展開・終末の各段階の手立てを具体化して、生徒一人一人の確かな学びを実現する学習指導が展開されています。

日々の実践を見直すことによる貴校の地道な取り組みの成果が、アンケートの分析結果である「授業での学びを日常生活や自分とつなげて考えることができる生徒」の具体的な姿につながっているものと考えられます。

最優秀園

■ 山梨学院幼稚園（山梨県）

お米づくりから広がる子どもたちの世界

「お米づくりから広がる子どもたちの世界」をサブテーマとし、米づくりに関する1年間の活動に注目しました。米づくりに関する興味や探究を深めた子どもたちが味わった収穫の喜びに加え、“大切に作る心”“優しい心”“感謝の心”などの、主題に繋がる心の育ちを捉えています。自由な発想で展開できる遊びとは異なる米栽培からは、「子どもたち主導の活動が豊かに展開した」との成果を実感されています。

長期にわたる米づくりは、子どもたちには「科学する心」が育まれる多様な体験を重ねる活動となったこと、また、保育者には主題についての考え方を深化させることに繋がる独創性のある実践であったことが高く評価されました。

■ 奈良市立鶴舞こども園（奈良県）

創造的なひらめきから「いい」をかたちづくる

「いい」こと考えた一きつと「いい」はずー「いい」とはこれだ

詳細な記録に基づいて、子どもたちの「いい」に込められた思いを捉えました。さらに、日常的な保育カンファレンスの積み重ねにより、“子ども理解”を園全体で共有し、主題に繋がる保育の深耕と、その質の向上に努められています。「いいがぶつかり合う」「確実なよりいいものにする」「いいを開拓する」などの、子どもの「いい」の深まりを捉えたことに新鮮さがあります。加えて、同じ活動をしている場面にも、丁寧な観察と考察によって、一人一人の「いい」には違いがあることを明らかにするなどの研究成果が具体的に示されています。

これらの「科学する心」を育てる保育の実践と研究は、従前にはない独創的な取り組みであり、高く評価されました。

2018年度 ソニー子ども科学教育プログラム 入選校一覧

■最優秀校（2校）

国立大学法人鹿児島大学教育学部附属小学校	鹿児島県	鹿児島島の自然に親しみ、学びの価値を実感する 鹿大附小プラン 2019
岐阜市立陽南中学校	岐阜県	自然の事物・現象に進んで関わり、 自己の学びをつなぐ生徒の育成

■優秀校（10校）

旭川市立大有小学校	北海道	越前市立武生第三中学校	福井県
新郷村立新郷中学校	青森県	学校法人山梨学院山梨学院小学校	山梨県
国立大学法人福島大学附属小学校	福島県	刈谷市立富士松南小学校	愛知県
匝瑳市立八日市場第二中学校	千葉県	松山市立道後小学校	愛媛県
千葉市立本町小学校	千葉県	北九州市立藤松小学校	福岡県

■奨励校（79校）

札幌市立白石中学校	北海道	千葉市立海浜打瀬小学校	千葉県
札幌市立円山小学校	北海道	千葉市立幸町小学校	千葉県
美幌町立北中学校	北海道	千葉市立さつきが丘東小学校	千葉県
平川市立柏木小学校	青森県	千葉市立都賀小学校	千葉県
三沢市立三沢小学校	青森県	千葉市立花見川小学校	千葉県
おいらせ町立木ノ下小学校	青森県	千葉市立緑町小学校	千葉県
南部町立向小学校	青森県	横浜市立相沢小学校	神奈川県
会津若松市立謹教小学校	福島県	横浜市立権太坂小学校	神奈川県
いわき市立小名浜第一小学校	福島県	横浜市立瀬谷小学校	神奈川県
いわき市立中央台東小学校	福島県	横浜市立立野小学校	神奈川県
郡山市立明健小学校	福島県	小千谷市立小千谷小学校	新潟県
相馬市立桜丘小学校	福島県	佐渡市立相川中学校	新潟県
田村市立滝根小学校	福島県	金沢市立明成小学校	石川県
稲敷市立桜川中学校	茨城県	岡谷市立神明小学校	長野県
稲敷市立新利根小学校	茨城県	諏訪市立中洲小学校	長野県
かすみがうら市立千代田中学校	茨城県	富士見町立富士見中学校	長野県
つくば市立吾妻中学校	茨城県	長野県諏訪清陵高等学校附属中学校	長野県
つくば市立高崎中学校	茨城県	国立大学法人信州大学教育学部附属松本中学校	長野県
取手市立戸頭小学校	茨城県	岡崎市立小豆坂小学校	愛知県
藤岡市立小野中学校	群馬県	岡崎市立愛宕小学校	愛知県
さいたま市立大谷口小学校	埼玉県	岡崎市立岩津小学校	愛知県
さいたま市立南浦和小学校	埼玉県	岡崎市立東海中学校	愛知県
越生町立越生小学校	埼玉県	岡崎市立広幡小学校	愛知県
旭市立干潟中学校	千葉県	刈谷市立朝日中学校	愛知県
袖ヶ浦市立蔵波中学校	千葉県	刈谷市立小垣江東小学校	愛知県
千葉市立大椎中学校	千葉県	刈谷市立雁が音中学校	愛知県

刈谷市立刈谷東中学校	愛知県
刈谷市立亀城小学校	愛知県
刈谷市立住吉小学校	愛知県
豊川市立南部中学校	愛知県
堺市立鳳南小学校	大阪府
堺市立八田荘西小学校	大阪府
堺市立浜寺石津小学校	大阪府
姫路市立広峰小学校	兵庫県
和歌山市立宮北小学校	和歌山県
国立大学法人和歌山大学教育学部附属小学校	和歌山県
出雲市立乙立小学校	島根県
熊野町立熊野中学校	広島県
下関市立向井小学校	山口県
柳井市立平郡東小学校	山口県

阿南市立中野島小学校	徳島県
阿南市立平島小学校	徳島県
今治市立国分小学校	愛媛県
今治市立吉海小学校	愛媛県
国立大学法人愛媛大学教育学部附属小学校	愛媛県
北九州市立黒崎中央小学校	福岡県
北九州市立木屋瀬小学校	福岡県
北九州市立曾根東小学校	福岡県
北九州市立田原小学校	福岡県
山鹿市立稲田小学校	熊本県
氷川町立竜北東小学校	熊本県
別府市立上人小学校	大分県
鹿児島市立中洲小学校	鹿児島県

(都道府県コード順)

2018年度 ソニー幼児教育支援プログラム 入選園一覧

■最優秀園（2園）

学校法人山梨学院 山梨学院幼稚園	山梨県	お米づくりから広がる子どもたちの世界
奈良市立鶴舞こども園	奈良県	創造的なひらめきから「いい」をかたちづくる 「いい」こと考えたーきっと「いい」はずー 「いい」とはこれだ

■優秀園 審査委員特別賞（1園）

札幌市立もいわ幼稚園	北海道	自分の力や考えに自信をもち、前向きに行動する子ども ～気づき、発見したことを伝え、教師や友達と探求していく過程を通して～
------------	-----	---

■優秀園（10園）

学校法人ろりぽっぷ学園 ろりぽっぷ保育園	宮城県	国立大学法人京都教育大学附属幼稚園	京都府
社会福祉法人陣場福祉会 認定こども園 杉の子	山形県	京都市立中京もえぎ幼稚園	京都府
二本松市立小浜幼稚園	福島県	社会福祉法人堺暁福祉会 幼保連携型認定こども園かなおか保育園	大阪府
社会福祉法人さがみ愛育会 幼保連携型認定 こども園 愛の園ふちのべこども園	神奈川県	社会福祉法人長尾会 第2長尾保育園	大阪府
学校法人金城学院 金城学院幼稚園	愛知県	丸亀市立西幼稚園	香川県

■奨励園（68園）

札幌市立きくすいもとまち幼稚園	北海道	(学) 織田学園 おだ認定こども園	東京都
(福) 五輪会 美郷こども園	青森県	(学) 錦秋学園 錦秋幼稚園	東京都
(学) ろりぽっぷ学園 ろりぽっぷ幼稚園	宮城県	NPO 法人東村山子育て支援ネットワークすずめ つばさ保育園	東京都
(福) こども未来創生会 保育所型認定こども園 さくらこども園	山形県	(福) 喜慈会 子中保育園	神奈川県
南陽市立赤湯幼稚園	山形県	(学) 深沢学園 さがみひかり幼稚園	神奈川県
(学) 中沢学園 みなみ若葉こども園	福島県	(福) たちばな福祉会 RISSHO KID'S きらり	神奈川県
(大) 福島大学附属幼稚園	福島県	(学) 恵愛学園 幼保連携型認定こども園 愛泉こども園	新潟県
二本松市立あだたら保育所	福島県	(学) あおい学園 あおい幼稚園	新潟県
さいたま市立片柳保育園	埼玉県	(福) なのはな 菜の花こども園	山梨県
さいたま市立上大久保保育園	埼玉県	(大) 山梨大学教育学部附属幼稚園	山梨県
さいたま市立指扇保育園	埼玉県	伊那市立高遠保育園	長野県
(学) くるみ学園 認定こども園 くるみ幼稚園	千葉県	伊那市立手良保育園	長野県
(大) 千葉大学教育学部附属幼稚園	千葉県	伊那市立西春近北保育園	長野県
足立区立中島根保育園	東京都	(福) 信州福祉会 わかば保育園	長野県
杉並区立西荻北子供園	東京都	安城市立城ヶ入保育園	愛知県
墨田区立菊川幼稚園	東京都	安城市立東部保育園	愛知県
墨田区立立花幼稚園	東京都	安城市立東端保育園	愛知県
墨田区立八広幼稚園	東京都	安城市立みのわ保育園	愛知県

岡崎市豊富第二保育園	愛知県	伊丹市立こぼと保育所	兵庫県
西尾市立鶴城幼稚園	愛知県	(福) ウエル清光会 仁川ウエル保育園	兵庫県
幸田町立大草保育園	愛知県	姫路市立中寺幼稚園	兵庫県
大津市立石山幼稚園	滋賀県	幼保連携型認定こども園 奈良市立都跡こども園	奈良県
(学) 松風学園 ひこねさくら保育園	滋賀県	奈良市立六条幼稚園	奈良県
(福) 徳雲福祉会 大井こども園	京都府	(学) 水谷学園 認定こども園 北陵幼稚園・北陵保育園	島根県
(福) 徳雲福祉会 千代川こども園	京都府	(福) 橘会 御南第二保育園	岡山県
(学) 常磐会学園 認定こども園 常磐会短期大学付属常磐会幼稚園	大阪府	丸亀市立城辰幼稚園	香川県
(福) 堺暁福祉会 幼保連携型認定こども園 あかつき保育園	大阪府	福岡市立雁の巣幼稚園	福岡県
(学) 常磐会学園 幼保連携型認定こども園 常磐会短期大学付属いずみがおか幼稚園	大阪府	(福) 遊亀会 いけだ保育園	長崎県
(福) ゆずり葉会 深井こども園	大阪府	(福) 芽豆羅の里 幼保連携型認定こども園 めずらこども園	大分県
(福) 照治福祉会 阿武山たつの子認定こども園	大阪府	(福) さつき福祉会 さくらさくら幼保連携型 認定こども園	宮崎県
富田林市立青葉丘幼稚園	大阪府	(福) 顕真会 よいこのもり幼保連携型認定こども園 よいこのもり第2幼保連携型認定こども園	宮崎県
(福) 長尾会 長尾保育園	大阪府	(学) 押野学園 幼保連携型認定こども園 せんだい幼稚園	鹿児島県
(学) 七松学園 認定こども園 七松幼稚園	兵庫県	石垣市立いのだ幼稚園	沖縄県
(福) 友愛福祉会 伊丹ひまわり保育園	兵庫県	そらいろえん	沖縄県

(都道府県コード順)

■ソニー創業者 井深大と教育助成について

ソニーの創業者である井深大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年に「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。

この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも広げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。60年近く、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心を育てる」こと、「科学が好きな子どもを育てる」ことを柱にした教育助成を行っています。

教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉－子ども夢教室」、親子の絆を育む「科学する心”を見つけよう フォトコンテスト」など、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。



ソニー創業者 井深大

■ソニー教育財団のあゆみ

- 1959 「ソニー小学校理科教育振興資金」開始
- 1963 「ソニー理科教育振興資金受賞校連盟」結成
- 1969 「財団法人 幼児開発協会」設立
- 1972 「財団法人 ソニー教育振興財団」設立（井深大理事長）
- 2001 「ソニー小学校理科教育振興資金」を改称し「ソニー子ども科学教育プログラム」開始
「ソニー教育振興財団」と「幼児開発協会」を統合し、「財団法人 ソニー教育財団」となる
- 2002 「ソニー理科教育振興資金受賞校連盟」を改組し、「ソニー科学教育研究会（SSTA）」発足
「ソニー幼児教育支援プログラム」開始
- 2011 「公益財団法人 ソニー教育財団」に移行

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1
TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

返信 FAX:03-3442-1035

ご取材お申込書 (ソニー教育財団 行)

「ソニー本社贈呈式」の取材をご希望される場合は、前日 **1月18日(金) 14:00まで** に
本用紙を FAX にてお送りいただきますようお願い申し上げます。

ソニー本社贈呈式 2019年1月19日(土)

※出席は最優秀と優秀の学校・園のみです

日時： 2019年1月19日(土) 15:00-16:35
会場： ソニー株式会社 本社2階 大会議場
東京都港区港南 1-7-1 品川駅(JR、京急) 港南口より徒歩8分
※会場には駐車場のご用意はございません

プログラム： 15:00-
(1)会長挨拶 ソニー教育財団 会長 盛田昌夫
(2)来賓ご挨拶 文部科学省初等中等教育局長(予定)
(3)審査委員長 総評
ソニー子ども科学教育プログラム：審査委員長 御手洗康
ソニー幼児教育支援プログラム：審査委員長 小泉英明
(4)賞状・目録 贈呈 ソニー教育財団 会長 盛田昌夫
16:00-
(5)最優秀校・最優秀園 研究発表

貴媒体名	
貴社名	
部署名・役職	
ご芳名	
ご同行者名	
TEL	
FAX	
e-mail	
インタビュー 有無	<input type="checkbox"/> 学校・園 ※ご希望の学校・園名をお書きください () <input type="checkbox"/> ソニー教育財団

お問い合わせ先： ソニー教育財団 03-3442-1005 広報(担当 山下) 080-9023-7961

※1月19日贈呈式会場へのご連絡先(当日のみ)： **070-3539-9543(福留)**